

2016年 3月 18日(金)

9:30~12:30 (受付 9:00~)

京都大学 芝蘭会館

(山内ホール)

ワークショップ

活気ある授業を 創るには？

参加型場づくりの技法「ファシリテーション」の活用

「活気ある授業を創るには？」をテーマとするミニワークショップです。ワークショップの体験後に、講師からそこで用いられた技の種明かしを聞くことで、ファシリテーションの基礎スキルを理解することができます。



中野民夫氏ご紹介

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授
2001年の『ワークショップ』(岩波新書)出版以来、社会教育、市民活動、NPO/NGO、行政、企業、学校など多様な分野で「参加型の場づくり」の講師やファシリテーター役を数多く実践している。



私はこれまで、参加型の場を創る技法である「ファシリテーション」に関する講座に多数取り組んできました。ところが、自分のお金と時間を投資した参加者が集う講座と大学の教室は全く様相が違いました。200人規模の授業では、後ろから埋まる教室、私語や遅刻、居眠りやスマホなどが当たり前前の風潮に心底驚きました。そこで大いに奮起した私は「大教室での参加型授業の試み」を試行錯誤してきました。そして「教える」より「学び合う場」を創ることで、学生の生身のコミュニケーション力、学ぶ意欲、主体性が育まれることを確認してきました。今回その一端を体験・理解していただけたらと思います。ぜひ一緒に語り合い・学び合いましょう。(中野民夫)

お問い合わせ

京都大学高等教育研究開発推進センター 大学教育研究フォーラム担当：550forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp